

新番小轉しんぱんせうてんより其子五郎ごらうを攝正しやうせい積つみ八はち廣ひろ

安二年十二月より大番小列おほいばんせうりやう人ひと 向日記○今の番

石野清二郎

善明ぜんめいの祖そなり

忠右ちゆうゑ坊ぼうの廣英ひろひでハ新藏しんざう廣次ひろつぐより二男になんなり

寛永かんゑい 寛永十二年十二月めさまで大番

に列りやうくく廩米りんまい二百俵にひゃくばうと賜たまはひ後法書院

番ばんに轉てん人ひと

家譜○今の西城法書院番
石野忠右坊の廣澄の祖なり

石野

七郎左しちらうざ坊ぼうの中原ひらなか廣ひろ之のハハ右みぎ坊ぼうの廣長ひろながより

二男になんなり寛永九年八月かんゑい 9年 8月よりめり

大猷院たいけんいん殿でん小せう中ちゆう人ひと久ひさ元もと奉ほうつつ 寛永 十六

召めいまますす小せう十じゆう人ひと小せう列りやうくく廩米りんまい百俵ひゃくばうとた

ままひひ 家譜同十八年四月西城小波せいはくくせ給たまひ

還かへ清きよけ時ときあやあやまりまりて清きよ供くわ小せうととままささ

よりよりくくままはは六む清きよ勘かん氣きとと並ならぶぶりり家け祿ろく位い